

様式 4

令和元年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野高等学校

校長 内仲 弘

評 価 日	令和 2 年 2 月 1 9 日 (水)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ア「学びの質的改善」について ・授業参観の感想 ・少人数授業は生徒の状況に合わせた学習であり評価できる。 ・以前に比べると生徒が学習に意欲的に向かう姿が大いに見え評価できる。 イ「社会の中で生き抜く力の育成」について ・学校評価アンケートの自尊感情や自己有用感に関するアンケート項目に、肯定的な回答をした生徒が 5 1 % となり、前年と比べ向上しており、学習指導を始め、様々な取り組みの効果が現れたものであり評価できる。 (2) 説明・公表について ・特になし		・現在、取り組んでいる協同学習を拡充させ、授業の質的改善を促進させ、生徒の主体的な学びを推進していく。 ・学校教育活動の中で生徒が活躍する場を様々設定し、生徒の自尊感情や自己有用感の育成を図っていく。
2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・特になし		
3. 取組改善のための提言 ・以前に比べると様々な取り組みの効果が出てきており、劇的に変化がみられる。学校評価アンケートの「本校では自分の良さや可能性を考える場面や機会があるか」の問いに肯定的に回答する生徒が向上しており（平成 2 9 年度 4 6 . 5 % から令和元年度 6 7 % ）、評価できる。 ・日野高等学校の魅力向上について ・射撃部、郷土芸能部の活躍を大いに外部にアピールしていただきたい。 ・最先端技術を活用した福祉系列の取り組みについて期待する。		・様々な教育活動の中で「授業の質的改善」、「社会性の育成」、「地域連携」の充実を図り、学力の伸長及び豊かな人間性を育む教育活動を推進する。また生徒による学校と地域の新しい価値の創造「H i N O ベーション」を推進し、生徒の成長と誇りの醸成を図る。